

林業学習実施中!(県立矢上高等学校)

島根県では、年間80人以上の新規林業就業者の確保を目標に、高校での林業学習を支援しています。

令和6年9月4日(水)、県立矢上高等学校産業技術科の2年生24名が林業学習講座を受講しました。

午前、利用間伐の伐採現場（美郷町）において、伐倒から搬出（伐倒－造材－林内土場からの搬出－運搬）までの一連の流れを見学しました。ヒノキの伐倒作業で、実際に立木が倒れて地響きがすると「お～、すげえ～」という声上がり多くの生徒が驚いている様子でした。また、ハーベスタでの造材、フォワーダ・グラップル付トラックでの運搬という山から市場へ木材が流れる過程はなかなか見学できないものであり貴重な研修となりました。

午後からは、島根県森林組合連合会江の川木材共販市場（邑南町）に移動して、出荷された木材の樹種やせりの方法等について学習しました。土場の見学では、はい積みしてある木材の見方や木の硬さの違いなどを体験しました。

林業講座や体験学習を通して、農林大学校等への進学や林業事業体への就職につながり、将来、島根の林業の担い手として活躍されることを大いに期待しています。



ヒノキの伐倒



フォワーダの作業の様子



木材市場での学習